

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

職員10人に対し9人が回答。2月に実施。

記入年月日:令和6年3月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		適切です。
	2	職員の配置数は適切であるか	6		職員の配置は基準通りです。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5		建物の老朽化の為、和室へ入る際は段差がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		・必要に応じて、参画することができた。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		常に意向を聞き改善に向けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	ホームページに載せている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		・H30年以降実施なし。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		常にサービス向上の為研修機会を設けている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		・分析後、どの様にして実施するまでを職員と共有して、その情報を保護者と共有し、実施している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		・日々の活動の中で必要な要素を抜き出して、アセスメントツールに当てはめている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		放デイ担当職員が立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		・季節の行事を取り入れている。 ・日々、登園する子ども達に合わせて、活動前の活動を変更している。 ・来年度から利用児の状況も変わる中で、再度プログラムの再考は必要。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6		・長期休みには、特に課題を出す時にはパターンを増して対応している。 ・課題、目標など設定しているが、継続性が足りないと感じることもある。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		・同じ様な活動でもタイミングや、順番を調整することで適宜な計画を作成できた。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		・前日などに子ども達の様子を共有し、必要に応じて役割分担を確認できた。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	1	・必要に応じて、主に気付いてすぐに改善できる点を共有し、すぐに実施することができた。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		毎日、記録を行っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6		年に2回モニタリング実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6		ガイドラインの沿って支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		障害児相談し得事業所と連携をとり担当者会議の実施を図っている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6		・おたよりを見て、保護者との情報共有を行い、調整できた。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5		現在なし。受け入れ時は病院と連携をとっていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6		年度末に情報の交換の実施を図っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5		引継ぎを実施している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	発達障害者支援センターの研修には参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		6	・センター化に向け、交流する機会をつくっていききたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	2	自立支援協議会子ども部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	1	・子どもができた所、保護者が自宅で行っている支援を認め、共通理解を深めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	ペアレントトレーニングの実施は行ってないが、保護者へのプリント配布を実施していきたい。
保	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	基準通りに説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	・相談の中で大事なポイントを絞り、共有して、必要な助言につなげている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	5	保護者同士の連携は行ってない。

護者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	今のところ、苦情はないが、あった際には適切に対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	月に1度、おたよりの発行を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6		個人情報同意書をとっている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		・言葉だけでなく目を見てジェスチャーを取り入れている。 ・実物(タオル、人形)を使って交換を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	・地域交流祭、卒園式等
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6		・シミュレーションや訓練を行っている。 ・必要に応じて、マニュアルを回覧している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		避難訓練は年に2回以上訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		月に1回所内で虐待防止委員会を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6		身体拘束があった場合は、計画に反映させている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		・いざという時の為に見える位置に薬が置いてある。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		・回覧している。 ・月1会議で確認。